

安全問題を検証する

NRU 国労せんだい

N0. 2494
2007年5月8日
発行責任者 太田 博二
編集責任者 武田 昌仙

宮城・福島で集会

地方本部は4月25日、宮城・福島両県において「4・25安全問題を検証する集会」を開催した。この集会是2年前(05年)の同日、鉄道事故において最大の惨事となったJR東西日本福知山線で発生した脱線転覆事故、続いて同年12月に発生したJR東日本羽越線での脱線転覆事故、さらに翌年1月、再び西日本会社伯備線で発生した作業員触車事故に鑑み、事故を風化させないことは勿論、二度と再びこのような悲惨な事故を起こさせないよう、職場の安全問題に対する取り組みの強化を図ることを目的として開催された。

宮城県集会から

宮城県集会是、くろろう会館において地本大沼書記長の開会挨拶があり、冒頭事故で亡くなられた方々のご冥福を祈り、全員で黙祷を捧げた。主催者を代表して挨拶に立った中島副委員長は「数々の悲惨な事



関いの報告

続いて安全に対する職場からの報告として、宮城県支部から秋山委員長、仙総支部から丹波業務部長よりそれぞれ

ワンマン運転導入反対の取組みから

報告を行った。宮城県支部秋山委員長からは、今春のダイヤ改正時から実施された空港アクセス線のワンマン運転に対する反対の闘いについて報告がされた。●ワンマン運転反対の闘いをして、働くのか、機械の現状は駅の急速な合理化、施設関係ではメンテナンス合理化による統廃合とP会社への業務丸投げ、乗務員関係は休日勤務が当たり前で食事・



関いの報告

協力会社社員労災死亡事故の再発防止の闘い

仙総支部丹波業務部長からは昨年8月幹総において発生したTKK社員の労災死亡事故についての詳細とその再発防止に向けた取り組みが報告

睡眠・トイレが満足に取れない状況などが明らかになった。この実態から見れば会社は本当に安全・安定輸送を考えているのか。何よりも乗降客の多い仙台圏のワンマン化は今後全ての線区でワンマン運転が可能になることを重視し、職場集会、現場視察、団体交渉、チラシ配布など反対運動を取組んできた。結果としてワンマン運転は実施されたが6両・4両については車掌・係員が一定期間乗車するなど成果もあった。

●会社は事故が発生すると「責任追及ではなく原因の追求」と言うが、現実には「基本動作・基本ルール徹底」のやるべきことをやっていないと個人の責任追及をしてくる。「なぜ出来なかったのか、どうすれば出来るのか」を職場実態から考え対策すべきであり、そうしない限り「尼崎・羽越線事故」が繰り返される条件は残り続ける。「公共交通としての認識が欠如し『生産性』が『安全性』を上回る時、明日にでも考えもつかない事故が発生する可能性を否定できない」と報告した。

●昨年の暮と年初に団交を行った。再発防止策として会社は仮台車非常停止ボタンを設置し移動時は扉を開けるとした対策を実施するとしたが、操作者が進行方向に位置し前方の扉に挟まれて事故となった事を指摘し、更なる改善を求め、2回目の交渉では「後方からの操作が出来るよう取組む」の回答を引き出した。また仮台車の検査周期を短縮し、使用前検査に変更となるなど安全作業ルールが改定となっている。

また国労の「あらゆる垣根を越えて、安全を確立する議論の場」という質しに対し



「国労とも経協等を通じ、真摯な議論をする」との返答があった。

●しかし今年X月、入換車両がシャッターに激突する事故が発生した。シャッターの後ろでは多くの作業員が居り、一つ間違えば大変なことになる。またその時も死亡事故時と同様、速やかに全ての社員と協力会社社員に周知されおらず、こうした会社の「隠蔽」とも受け止められかねない対応にも労働組合として注意・監視を続けなければならぬとして報告を終了した。

ひとこと

「JR東日本の安全問題」

3月18日、仙台空港アクセス鉄道線が開業した。仙台駅と仙台空港駅間を走行する車両は全てワンマン運転である。しかしこの乗降客の多い線区で万一異常事態が発生した場合、本日に運転士一人で乗客の身の安全を確保できるのか、疑問を感じざるを得ない。JR東日本は、外部に対しては「安全対策を実施している」と言っているようだが、現実には安全を軽視したような施策を行っていないか。私達は、国鉄時代の安全綱領で「安全は、輸送業務の最大の使命である」と教えられた。しかし、JR東日本の経営理念「お客様第一」が示すように、JRでは安全は二番目に降下押し下げられてしまった。「大幅な要員削減」「外注化」等のJRの利益第一的な施策によって「教育訓練や見習い等の不足」等から様々な問題が引き起こされ、それらが事故を発生させる一要因となっている。「安全の確保に最も大切」であるはずの「確認の励行と連絡の徹底」が疎かになり、「疑わしい時は、手落ちなく考えて、最も安全と認められるみちを採らなければならない」とあっても、何が「疑わしい」のか、どの方法が「手落ちない」のか分らない状態にされている。自分が、そして仲間の中から事故の当事者を出さない為にも、職場の中で問題を明らかにし改善させていくことが必要だと感じている。(利)

雨の中、国労をアピール

東日本入社式行動

今年も1400人超の若人がJR東日本に入社。国労東日本本部は新入社員の入社式にあたり、研修センター入所の3月31日にあわせ、アピール宣伝行動を行った。

仙台地本からは4名の組合員が参加し「入社おめでとう」の横断幕を掲げ「国労」をアピールしてきた。



新入社員に呼びかける

の主旨を現場長に周知させるとともに、新採とのつながりを作るのがより重要となる。

これまで入社式行動では、バスのカーテンを締め切り一切国労のアピールを新採に見せないようにしていたが、今年はそのような対応はなかった。



途中雨が強く降り出し大変な行動となったが、国労の呼び掛けに手を振って答える新入社員が数多く出るなどこれまでにないアピールの場となった。

組織内候補者全員当選を確認

当選に向けた行動・協力ありがとうございました

郡山市議会 佐藤ゆきお

当選6回目

定数 40名 立候補 46名

3,360票 17位

仙台市議会 (泉区) 石川けんじ

当選3回目

定数 11名 立候補 13名

5,047票 9位

会津若松市議会 松崎 新

当選2回目

定数 30名 立候補 44名

1,680票 20位

喜多方市議会 長沢かつゆき

当選2回目

定数 30名 立候補 43名

776票 27位

米沢市議会 我妻とくお

当選2回目

定数 24名 立候補 29名

1,935票 6位

鏡石町議会 円谷ひろし

当選7回目

定数 14名 立候補 14名

無投票当選

統一自治体選挙結果報告

小椋さん国労復帰歓迎会

4月11日、郡山市内において、郡山駅連合分会主催により



喜びの挨拶を述べる小椋さん

る「小椋正さん国労復帰加入歓迎会」が開催された。

歓迎会には、分会組合員はもとより、古川正浩県議、佐藤幸夫郡山市議、仙台地本、福島県支部、郡山分連協、福島県支部内の各分会代表など多くの方々の参加を頂き、また小椋さんへ歓迎の言葉が

寄せられ、全員で小椋さんの復帰加入を喜び合った。会は終始和やかな雰囲気にも包まれ、最後に金田分会長による「小椋さん、保志さん4月9日付で仙台駅連合分会へ国労加入、郡山駅連合分会が関わっていたに続く組織拡大を目指そう」という締め挨拶と団結願をうけて閉会された。



小椋正さん国労復帰歓迎会

お知らせ

国労会館建設資金返済業務の取り扱い変更について

国労会館建設資金返済業務は1999年度末償還期限以降、(財)国労会館仙台事業部で取り扱いを行ってきたところですが、

このたび返済業務が一定の整理を見たこと等から、(財)国労会館仙台事業部で取り扱ってきた業務の残りについて、国労仙台地本本部で引き受けることになりました。

つきましては、今後の国労会館建設資金返済請求については下記に請求をしてください。

記

住所 〒984-0015 仙台市若林区新寺一丁目4-31

名称 国鉄労働組合 仙台地本

担当係 岡崎

連絡先 TEL 022-269-7460 FAX 022-269-7435

請求方法

所定の請求書に必要事項を記載の上「国労会館建設資金受領之證」とあわせて提出してください。

